

研究課題名	体表面積指標による造影剤注入法が画像に及ぼす影響について
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	泉大津急性期メディカルセンターでは安心・安全な放射線検査を行うために、被ばく線量管理や画質向上に向け様々な取り組みを行っております。当院では、根本杏林堂の造影剤注入装置である GX-10 を導入しており、この装置には adjustment body weight protocol (AdBW) 法という機能が備わっています。造影剤を使用して得られる効果は体重によって異なると言われていますが、AdBW 法はその差を少なくし、体重に関係なく均一な造影効果を得ることに期待される機能です。そこで府中病院時代から行ってきた従来の造影法と AdBW 法を比較し、画像にどのような相違があるかを検討するため、下記の研究を行うこととなりましたのでご報告させていただきます。 本研究は泉大津急性期メディカルセンターの倫理委員会の承認を受け実施致します。研究を行うにあたり個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、個人が特定できる情報はすべて匿名化し使用させていただきます。得られた研究結果は、学会発表や論文などに公開予定ですが、研究以外には使用しないことをお約束いたします。また、一部期間で造影剤注入方法が変更（従来法と AdBW 法）となりますが、読影・診断に支障をきたすことはありませんのでご安心ください。本研究で得られた下記データは、株式会社根本杏林堂に情報を提供し、共同で解析を行います。データはパスワードをかけた電子ファイルで送付します。 皆様により良い CT 画像を提供できると考えていますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
研究対象者	・ 2024 年 12 月 1 日～2025 年 10 月 15 日の間で全腹部造影 CT 検査（ダイナミック CT を含む）を受けられた方（後ろ向き研究） ・ 2025 年 10 月 16 日～2026 年 3 月 31 日までに当院で全腹部造影 CT 検査（ダイナミック CT 検査を含む）を受付ける予定の方（前向き研究）
利用又は提供する試 料・情報の項目	・ 造影項目（総投与造影剤量・注入時間・造影剤濃度・実投与量） ・ 体格項目（性別・身長・体重・BSA） ・ 生化学項目（心拍数・血圧・ヘマトクリット値・肝機能） ・ 撮影項目（装置・再構成関数・管電流時間積・スライス厚・被ばく線量）
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2027 年 3 月
試料・情報の取得方法	・ 造影 CT 検査直前に身長と体重をお聞きます。 ・ 造影 CT 検査日から一番近い計測日の採血・検査データを使用します。 ・ 撮影した造影 CT 画像の肝実質数か所、腸腰筋、腹部大動脈から CT 値を計測します。 ・ 実際撮影した条件を使用します。
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究は泉大津急性期メディカルセンター 放射線室で行います。 また、ご提供いただいた情報は、以下の機関が利用します。 【研究代表者】 株式会社 根本杏林堂 小林 弘幸 https://www.nemoto-do.co.jp/
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	泉大津急性期メディカルセンター 放射線室：谷 光太郎

(研究書式 14)

研究に協力したくない場合	本研究について詳しい情報をご希望の方は、下記担当者までお問い合わせ下さい。本研究に同意されない、または同意を撤回された場合であっても、撮影画像に影響することはない患者様に不利益は起こりません。また、読影結果に影響することもないのでご安心ください。結果公開前であれば研究対象外としますので遠慮なくお申し出下さい。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	泉大津急性期メディカルセンター 放射線室 谷 光太郎 〒595-0031 大阪府泉大津市我孫子 97 番 1 Tel : 0570-02-1199